

自治体 GIS プラットフォーム

—— 管理者用マニュアル ——

Ver. 2.0
2019/11/25

neo *GIS*

目次

1. はじめに	3
2. 機能一覧	3
3. ログイン	3
4. システム管理メニュー	4
5. ユーザ管理	4
6. レイヤ管理	5
7. コードテーブル管理	7
7-1. コード定義の追加	7
7-2. コード定義の修正	9
7-3. コード定義の削除	9
8. 属性テーブル管理	10
8-1. 属性テーブルの追加	10
8-2. 属性テーブルの削除	12
9. 属性データ処理	13
9-1. 属性データの抽出	13
9-2. 属性データの削除	15
9-3. 属性データのロード	16
10. 図形データ処理	18
10-1. 図形データの抽出	18
10-2. 図形データの削除	20
10-3. 図形データのロード	21
11. 属性テーブル設定	23
11-1. 吹き出し項目の設定	23
11-2. 非公開情報項目の設定	24
11-3. 属性テーブルの階層設定	24
11-4. 属性テーブルの優先順位	25
12. データ公開設定	26
13. GISデータ取り込み	27
13-1. Shapeデータの取り込み	27
13-2. KMLデータの取り込み	30
13-3. GeoJSONデータの取り込み	31
14. アドレスマッチング	32
15. 地番マッチング	35
16. システムログ表示	38

1. はじめに

自治体GISプラットフォームを使用するうえで必要となる管理機能の操作マニュアルです。対象は各グループの管理者となります。

2. 機能一覧

ユーザ管理 : グループ内のユーザの管理（追加／修正／削除）を行います。

レイヤ管理 : 図形レイヤの管理（追加／修正／削除）を行います。

属性テーブル管理 : 属性テーブルの作成、削除、コード定義等を行います。

図形データ処理 : 図形データの抽出、削除、ロードを行います。

属性データ処理 : 属性データの抽出、削除、ロードを行います。

属性テーブル設定 : 属性テーブルの吹き出し項目、非公開情報項目の設定を行います。

データ公開設定 : 図形レイヤ、属性テーブルのグループ外への公開／非公開の設定を行います。

GISデータ取り込み :

GISデータ（shape、KML、GeoJSON）の取り込みを行います。

アドレスマッチング :

住所を含むCSVファイルから、アドレスマッチング（住所から座標を特定する機能）により、ポイントレイヤ、属性テーブルを作成します。

地番マッチング : 大字cd、地番という項目を持つCSVファイルを、筆属性とマッチングし、地籍図にリンクする属性テーブルを作成します。

システムログ表示 : データ更新、印刷、システム管理等の処理ログを一覧表示します。

※ グループによっては、その他の機能が追加されている場合があります。

3. ログイン

http://{自治体GISアドレス}/index_adm.html

ユーザID : ?????? （各グループの管理者）

4. システム管理メニュー

ログイン後のシステム管理メニューです。
それぞれの機能ボタンのクリックで、各機能画面に移ります。

システム管理メニュー
[ログアウト]
[税務課] 管理:neocis

ユーザ管理

ユーザ管理

ユーザの登録、変更、削除を行います。

図形レイヤ管理

レイヤ管理

レイヤの作成、削除を行います。

コードテーブル管理

対象コードテーブル:

▼

コードテーブル作成

コードテーブル修正

コードテーブル削除

属性テーブル管理

新規テーブル名:
 対象テーブル名:

▼

属性テーブル作成

属性テーブル削除

属性データ処理

データ抽出

データ削除

データロード

図形データ処理

データ抽出

データ削除

データロード

その他データ処理

属性テーブル設定

データ公開設定

GISデータ取込み

アドレスマッチング

地番マッチング

属性テーブルのオプション設定を行います。
選択リストの並び替えと階層化、吹き出し表示項目、非公開情報項目等

図形レイヤと属性データの公開設定を行います。

GISデータ(Shape等)から、属性付きの図形データをロードします。

CSVファイルから、アドレスマッチングしたポイントデータをロードします。

CSVファイルから、筆属性とマッチングした属性データを追加します。

5. ユーザ管理

グループ内のユーザの管理（追加／修正／削除）を行います。
ログインした管理者のグループ内のユーザが表示されます。

注意： ユーザIDは、全グループでユニークとなる必要があります。
登録時に使用済みIDのチェックが行われます。

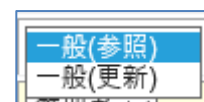
ユーザ管理メニュー
[システム管理メニュー][ログアウト]
[税務課] 管理:neocis

NO	ユーザID	パスワード	初期表示座標		グループ	レベル	処理
0			X座標	Y座標	税務課	一般(参照) ▼	登録
1	neocis	neo	X座標	Y座標	税務課	管理者 ▼	変更
2	usera	aaa	X座標	Y座標	税務課	一般(参照) ▼	変更 削除
3	userc	ccc	X座標	Y座標	税務課	一般(更新) ▼	変更 削除

初期表示座標： 図面を開いた時の初期表示位置を指定します。
緯度経度です。
指定のない場合は、市役所位置となります。

レベル： ユーザレベルを指定します。
以下の選択が可能です。

一般（更新）／一般（参照）



6. レイヤ管理

図形レイヤの管理（追加／修正／削除）を行います。
作成したレイヤは、グループ外非公開で作成されます。
公開する場合は、「12. データ公開設定」機能で行います。

画面下部「レイヤデータ」で各種設定を行い、「追加」ボタンのクリックでレイヤが追加されます。

レイヤ管理

【システム管理メニュー】[ログイン]

再読み込み

グループ	NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線	枠色	基図縮尺	オプション
	200	地籍図	ポリゴン			[1]		0	LS:100000, MS:7000, RS-5, FS:7000, SS-5
	220	家屋図	ポリゴン			[1]		0	LS:100000, MS:7000, RS-5, FS:7000, SS-5

レイヤデータ

追加 変更 削除

グループ	NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし	基図縮尺
-----未設定-----	200	地籍図	ポリゴン			1			0

オプション

各種制限縮尺:

描画:

(SL) ~ 100000 (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示:

(VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示:

7000

(MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ:

5

(RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示:

(SF) ~ 7000 (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定:

シンボル:

-5

(SS) 正值:可変サイズ(縮尺連動) 負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

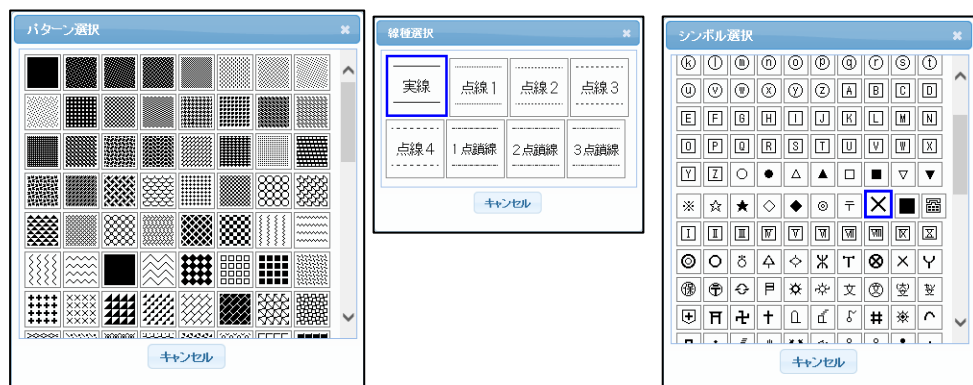
グループ： ※使用できません。

NO： レイヤNO。001～999 ただし、888、999 は使えません。

レイヤ名： レイヤ名。漢字9文字（半角18文字）までの文字列。

種別： ポリゴン（面）／ライン（線）／シンボル（点）。

描画タイプ： 種別によって変わります。



色： 描画色。ポリゴンの場合は塗り色。



枠線（線幅）： ラインの太さ。および、ポリゴン枠のラインの太さ。
1～16ピクセル。

塗りつぶし： ポリゴンの塗りつぶし ON/OFF。

基図縮尺： 基図の縮尺精度。
システム内では、メモの扱いです。

その他オプション：

描画： 描画する縮尺範囲。

ベクトル表示：

ベクトル表示する最小縮尺。
これは、図形編集機能に影響します。
この縮尺以下では図形編集できません。

シンボル表示：

ポリゴンのランク表示時、この縮尺以下になるとシンボルでの表示となります。

シンボルサイズ：

上記シンボル表示時のシンボルサイズ。

属性表示：

地図上に属性表示する縮尺範囲。

サイズ設定：シンボル：

シンボルの表示サイズ。

正值： 描画縮尺に連動する実測でのサイズ。（単位：ミリ）

負値： 描画縮尺に連動しない固定サイズ。（単位：印刷用紙上でのミリ）

「追加」ボタン： 上記設定で図形レイヤを追加します。

「変更」ボタン： 選択した図形レイヤの設定内容を変更し適用します。

「削除」ボタン： 選択した図形レイヤを削除します。

7. コードテーブル管理

属性テーブルで使用するコード定義の管理（追加／修正／削除）を行います。

7-1. コード定義の追加

「対象コードテーブル」横のテキストボックスに、作成するコード ID を入力して、「コードテーブル作成」ボタンをクリックします。

「コードテーブル作成」画面が表示されます。



コード概要部：

- コード ID: コード ID。
- コード名: コード名。
- コード長: コード長。最大10。漢字5文字（半角10文字）。
- 変換省略長: 最大10。漢字5文字(半角10文字) までに短縮したコード定義。
- 変換長: コード定義長。最大30。漢字15文字（半角30文字）。
- 読み: 読みを付けると、大字等大量のデータがある場合に、選択リストを絞ることが可能となります。



階層ごとのコード長：

コードは階層化することが可能です。

例えば、大分類3桁、小分類3桁等。 5階層まで可能。

コメント： コードのメモ。漢字20文字（半角40文字）までの文字列。

コード定義部：

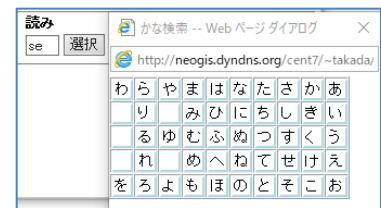
——コードデータ—— 下部に、それぞれのコード定義を入力し、「追加」ボタンのクリックでコード定義が追加されます。

NO	コード値	変換省略値	変換値	読み	コメント
1	0011	西村町一	西村町一丁目	ni	
2	0012	西村町二	西村町二丁目	ni	
3	0021	世田谷街一	世田谷街一丁目	se	

コード値： コード値。

変換省略値： 短縮したコード定義。

変換値： コード定義。



読み： コード定義先頭の読み一文字をローマ字で指定する。

例えば、「あ」->「a」、「さ」->「sa」。

「選択」ボタンで、読みパネル（上図）表示し、そこから選択することも可能。

コメント： コード定義のメモ。漢字10文字（半角20文字）までの文字列。

「上に移動」「下に移動」ボタン： 選択したコード定義の順番を調整します。

「変更」ボタン： 選択したコード定義を変更します。

「削除」ボタン： 選択したコード定義を削除します。

「適用」ボタン： 設定した内容でコード定義をコードテーブルに保存します。

「リセット」ボタン： 設定した内容をリセットします。

7-2. コード定義の修正

「対象コードテーブル」横の「コード選択」リストで修正するコード定義を選択し、「コードテーブル修正」ボタンをクリックします。

コードテーブル管理

対象コードテーブル：

103

コードテーブル作成

評価用途区分

コードテーブル修正

「コードテーブル修正」画面が表示されます。
上記で指定したコード定義の内容が表示されます。

コードテーブル修正

[システム管理メニュー][ログアウト]
[税務課] 管理:neolis

コードID:

103

 コード名:

評価用途区分

 コード長:

2

 変換省略長:

8

 変換長:

20

適用

リセット

読み: ☐あり ☒なし 階層毎のコード長: コメント:

NO	コード値	変換省略値	変換値	読み	コメント
1	12	普通商業	商業地域_普通商業_		
2	21	普通住宅	住宅地域_普通住宅_		
3	22	併用住宅	住宅地域_併用住宅_		
4	31	中小工業	工業地域_中小工業_		
5	51	村落	その他地区_村落_		
6	52	特殊	その他地区_特殊_		
7	99	未定義	用途未定義_なし_		

コードデータ

上に移動

下に移動

追加

更新

削除

コード値	変換省略値	変換値	読み	コメント
<div></div>	<div></div>	<div></div>	<div></div> <div>選択</div>	<div></div>

修正方法は、「7-1. コード定義の追加」と同様です。

「適用」ボタン： 修正した内容でコード定義をコードテーブル保存します。

「リセット」ボタン： 修正した内容をリセットします。

7-3. コード定義の削除

「対象コードテーブル」横の「コード選択」リストで削除するコード定義を選択し、「コードテーブル削除」ボタンをクリックします。

コードテーブル管理

対象コードテーブル：

103

コードテーブル作成

評価用途区分

コードテーブル修正

コードテーブル削除

「コードテーブル削除」画面が表示されます。

内容を確認後、「適用」ボタンのクリックで、対象のコード定義がコードテーブルから削除されます。

8. 属性テーブル管理

属性テーブルの管理（追加／修正／削除）を行います。

8-1. 属性テーブルの追加

「新規テーブル名」横のテキストボックスに、作成する属性ファイル名を入力して、「属性テーブル作成」ボタンをクリックします。

「属性テーブル作成」画面が表示されます。

テーブル名	リンクレイヤ名	キー項目名	想定レコード数	増分レコード数	コメント
避難所	!!!リンクレイヤなし!!!				

NO	項目名	項目型	全桁	少数桁	キーフラグ	ヌルフラグ	データ型	コードID	コメント
----	-----	-----	----	-----	-------	-------	------	-------	------

項目設定

項目名	項目型	全桁	少数桁	キーフラグ	ヌルフラグ	データ型	単位	コメント
	文字型			ノンキー	ヌル可能	値	未設定	

属性テーブル概要部：

テーブル名： 属性テーブル名。半角数字以外で始まる漢字8文字（半角16文字）までの文字列。

リンクレイヤ名： 図形にリンクする場合は、図形レイヤを選択。
図形にリンクしない属性ファイルを作成する場合は、
“!!!リンクレイヤなし!!!”を選択。

キー項目名： レコードを特定するキーとなる項目名。
図形とリンクする場合は、リンクキーとなる項目名。
項目一覧から選択。

想定レコード数、増分レコード数：
想定されるレコード数、想定される増分レコード数。
システム内では、メモの扱いです。

コメント： データのメモ。漢字11文字（半角22文字）までの文字列。

「他テーブル参照」ボタン：
項目定義が既存の属性テーブルと似ている場合、項目定義をその属性テーブルからコピーしてすることが可能です。
コピー後、必要な部分のみを修正することで入力の手間を省けます。

項目定義部：

——項目設定—— 下部に、それぞれの項目定義を入力し、「追加」 ボタンのクリックで項目定義が追加されます。

属性テーブル作成 [システム管理メニュー][ログアウト]
[税務課] 管理:neocis

テーブル名: 避難所 リンクレイヤ名: 002 528 避難施設 キー項目名: label 適用 リセット
想定レコード数: 100 増分レコード数: 10 コメント: aaaaaa
他テーブル参照 n528 避難施設

NO	項目名	項目型	全桁	少数桁	キーフラグ	ヌルフラグ	データ型	コードID	コメント
1	label	文字型	10	0	昇順	ヌル可能	値		キー
2	label	文字型	10	0	ノンキー	ヌル可能	値		
3	行政コード	文字型	5	0	ノンキー	ヌル可能	値		
4	名称	文字型	48	0	ノンキー	ヌル可能	値		
5	住所	文字型	40	0	ノンキー	ヌル可能	値		
6	施設の種別	文字型	33	0	ノンキー	ヌル可能	値		
7	収容人数	文字型	3	0	ノンキー	ヌル可能	値		
8	施設規模	文字型	2	0	ノンキー	ヌル可能	値		

——項目設定—— 上に移動 下に移動 追加 更新 削除

項目名	項目型	全桁	少数桁	キーフラグ	ヌルフラグ	データ型	単位	コメント
label	文字型	10	0	昇順	ヌル可能	値	——未設定——	キー

項目名： 項目名。半角数字以外で始まる漢字8文字（半角16文字）までの文字列。

項目型： 項目の型。
文字型：漢字499文字（半角999文字）までの文字列。
小桁整数型： 整数。-32768 ～ 32767
整数型： 整数。-2147483648 ～ 2147483647
少数実数型： 実数。
-3.402823E38～-1.401298E-45
1.401298E-45～3.402823E38
実数型： 実数。
-1.79769313486231E308～-4.94065645841247E-324
4.94065645841247E-324～1.79769313486232E308
日付型： 日付。

全桁： 全体の桁数。小数点含む。

小数桁： 小数部分の桁数。

キーフラグ： キーの設定。
インデックス／ユニークインデックス。

ヌルフラグ： ヌル値を許すかどうかのフラグ。可能／不可

データ型： データの型。値／コード

単位： データの単位。
システム内では、メモの扱いです。

単位

——未設定——

センチメートル
メートル
キロメートル
平方メートル
平方キロメートル
ヘクタール
分
時間
年
円
円_平方メートル
円_平方キロメートル
戸
件
人
本
台
床
パーセント
度

コメント： 項目のメモ。漢字14文字（半角29文字）までの文字列。

添付ファイルの追加：

属性テーブルでは、各レコードに添付ファイル（画像、エクセル等）を添付することが可能です。

詳細設定で、“_upkey” という特別な名前の項目を追加することで、これが可能となります。

この場合、項目型、桁数等は自動設定されますので、指定する必要はありません。

項目設定						
項目名	項目型	全桁	少数桁	キーフラグ	ヌルフラグ	データ型
_upkey	文字型	10	0	ノンキー	ヌル可能	値

「上に移動」「下に移動」ボタン： 選択した項目の順番を調整します。

「変更」ボタン： 選択した項目定義を変更します。

「削除」ボタン： 選択した項目定義を削除します。

「適用」ボタン： 設定した内容で属性テーブルを作成します。

「リセット」ボタン： 設定した内容をリセットします。

8-2. 属性テーブルの削除

「対象テーブル名」横の「属性テーブル選択」リストで削除する属性テーブルを選択し、「属性テーブル削除」ボタンをクリックします。

属性テーブル管理		
新規テーブル名：	<input type="text"/>	属性テーブル作成
対象テーブル名：	<div>家屋図</div>	属性テーブル削除

「属性テーブル修正」画面が表示されます。
上記で指定した属性テーブルの内容が表示されます。

内容を確認後、「適用」ボタンのクリックで、対象の属性テーブルが削除されます。

9. 属性データ処理

属性テーブルの各種処理（抽出／削除／データロード）を行います。

9－1. 属性データの抽出

属性データ処理「データ抽出」ボタンをクリックし、「属性データ抽出」画面を表示します。
各種条件を設定して「実行」ボタンのクリックで、データが抽出されダウンロード可能となります。

テーブル： 抽出対象のテーブル。

文字コード： 抽出時の文字コード。Shift-JIS／EUC／UTF-8

ファイル形式： 出力形式。

unl/csv： デリミタ区切りのテキストデータ。

dump： データベース（PostgreSQL）のCOPY形式。

ファイルタイプ： ファイル形式が“dump”の場合、テキスト／バイナリを選択。

タイトル出力： ファイル形式が“unl/csv”の場合、先頭行にタイトル（項目名）を出力するかどうかを選択。

csv形式： ファイル形式が“unl/csv”の場合、CSV形式（カンマデリミタ形式）で出力。

デリミタ文字： ファイル形式が“unl/csv”の場合、カンマ以外のデリミタを使用したい場合は、ここに入力。

最終デリミタ出力： レコードの最後にデリミタを付けるか、付けないかの指定。

抽出条件：

項目選択、並び替え、検索条件を指定します。

項目選択：

出力項目を選択。

並び替え：

並び替え項目を選択。

検索条件：

検索条件を論理式で指定。

コード項目：

コード項目の出力形式。無変換／変換省略／変換

「実行」 ボタンのクリックにより、設定した条件でデータが抽出され結果が表示されます。

「ファイルダウンロード」 アンカーのクリックで、抽出データをダウンロードします。

9-2. 属性データの削除

属性データ処理「データ削除」ボタンをクリックし、「属性データ削除」画面を表示します。
各種条件を設定して「実行」ボタンのクリックで、データが削除されます。

属性データ削除 [システム管理メニュー][ログアウト]
[税務課] 管理:neocis

テーブル: n401三角点 実行

条件式のクリア 条件式のセット ●定数・コード値 ○他項目

and	label	= (等しい)	
or	id	≠ (等しくない)	
(uuid	< (小さい)	
)	存在期間自	> (大きい)	
	整備完了日	≤ (以下)	
	orggild	≥ (以上)	
	orgmdid		

テーブル: データ削除対象のテーブル。

削除条件を、論理式で指定します。

条件が指定されない場合は、全レコードが削除されます。

「実行」ボタンのクリックにより、設定した条件でデータが削除され結果が表示されます。

属性データ削除

テーブル: n528避難施設 実行

名称 = *小*学校*

条件式のクリア 条件式のセット ●定数・コード値 ○他項目

and	label	= (等しい)	*小*学校*
or	label	≠ (等しくない)	
(行政コード	< (小さい)	
)	名称	> (大きい)	
	住所	≤ (以下)	
	施設の種類	≥ (以上)	
	収容人数		

データ削除 完了
テーブル : n528避難施設
削除データ件数 : 10 件

9-3. 属性データのロード

属性データ処理「データロード」ボタンをクリックし、「属性データロード」画面を表示します。
各種条件を設定して「実行」ボタンのクリックで、データがロードされます。

テーブル： ロード対象のテーブル。

文字コード： ロードデータの文字コード。Shift-JIS/EUC/UTF-8

ファイル形式： ロードするファイルの形式。
unl/csv： デリミタ区切りのテキストデータ。
dump： データベース（PostgreSQL）のCOPY形式。

ファイルタイプ： ファイル形式が“dump”の場合、テキスト/バイナリを選択。

ロードタイプ： ロードタイプ。入れ替え/追加

csv形式： ファイル形式が“unl/csv”の場合、CSV形式（カンマデリミタ形式）のデータをロードする。

デリミタ文字： ファイル形式が“unl/csv”の場合、カンマ以外のデリミタを使用しているデータをロードする場合は、ここに入力。

データファイル： ロードするデータファイル。

項目選択： ロードするデータファイルの項目を指定。

「実行」 ボタンのクリックにより、設定した条件でデータがロードされ結果が表示されます。

属性データロード

テーブル：

n528避難施設

 文字コード：

Shift-JIS

実行

ファイル形式：

unl/csv

 ファイルタイプ：

☒ テキスト ☐ バイナリ

ロードタイプ：

☒ 入れ替え ☐ 追加 ☐ CSV形式

 デリミタ文字：

|

データファイル：

E:\trnp\adm_zdbExt20191103162112.txt

label

label

行政コード

名称

住所

施設の種類の

収容人数

施設規模

対象災害_地震

対象災害_津波

対象災害_風水害

全指定

クリア

☐ 順序変更

データロード 完了

テーブル : n528避難施設

文字コード : Shift-JIS

ファイル形式 : unl/csv

ファイルサイズ : 3.88 KB

ロードデータ件数 : 23 件

全データ件数 : 23 件

10. 図形データ処理

図形データの各種処理（抽出／削除／データロード）を行います。

10-1. 図形データの抽出

図形データ処理「データ抽出」ボタンをクリックし、「図形データ抽出」画面を表示します。
各種条件を設定して「実行」ボタンのクリックで、図形データが抽出されダウンロード可能となります。

レイヤ： 抽出対象の図形レイヤ。

ファイル形式： 出力形式。 ※このデータはシステムの内部形式となります。
shape： shape形式。(dcf、shp、shxをLzhでまとめます。)
dump： データベース (PostgreSQL) のCOPY形式。

ファイルタイプ： ファイル形式が“dump”の場合、テキスト／バイナリを選択。

タイトル出力： ファイル形式が“unl/csv”の場合、先頭行にタイトル（項目名）を出力するかどうかを選択。

座標変換： 出力する座標形式を指定。
緯度経度／メートル／EPSGコード
緯度経度／メートルは、GISの環境設定に依存します。

EPSGコードとは？：

GISで使用する座標参照系、測地系、地図投影法等を表すコード。
室蘭市（デモデータ）では、以下となります。

2 4 5 4： 平面直角座標の1 2系。JGD2000
4 6 1 2； JGD2000。緯度経度
4 3 2 6： WGS84。緯度経度

また

緯度経度： 4 6 1 2がセットされます。
メートル： 2 4 5 4がセットされます。

「属性なし」チェックボックス：

属性情報を付けない場合（labelのみ出力）は、チェック ON。

属性情報を付けた場合、システムの内部情報（以下）が出力されます。

label：	ラベル
cent_bt：	ボタンコード。未使用
cent0：	中心点座標
cent1：	引き出し線（1点目）
cent2：	引き出し線（2点目）。文字書き出し座標。
cent3：	引き出し線（3点目）。文字書き出し方向座標。

抽出条件： 抽出条件の指定。
検索条件を論理式で指定。

図形レイヤには複数の属性テーブルがリンクしている場合もあるので、属性テーブルも選択します。

図形データ抽出 [システム管理メニュー] [ログアウト]
[防災安全課] 管理:bousa

レイヤ: 113 避難場所 ▼ タイプ: シンボル 実行

ファイル形式: shape ▼ ファイルタイプ: ☒ テキスト ☐ バイナリ

座標変換: ☒ 経度緯度 ☐ メートル ☐ EPSGコード指定 4612 ☐ 属性なし

[検索処理] テーブル: 避難場所 ▼ 条件

検索条件入力

☒ 検索条件 閉じる

屋内屋外 = '屋内'

条件式のクリア 条件式のセット ☒ 定数・コード値 ☐ 他項目 ☐ データ選択

and label 番号 施設名称 読み 住所 施設分類 屋内屋外

＝ < 等しい > 等しくない < 小さい > 大きい ≤ 以下 ≥ 以上

「実行」ボタンのクリックにより、設定した条件でデータが抽出され結果が表示されます。

データ抽出完了

レイヤ : 113 避難場所 (シンボル)
EPSGコード : 4612
抽出条件 : 屋内屋外 = '屋内'
抽出データ件数 : 142 件
ファイル形式 : shape (LZH圧縮)
ファイルサイズ : 4.61 KB

ファイルダウンロード

「ファイルダウンロード」ボタンのクリックで、抽出データをダウンロードします。

10-2. 図形データの削除

図形データ処理「データ削除」ボタンをクリックし、「図形データ削除」画面を表示します。
各種条件を設定して「実行」ボタンのクリックで、図形データが削除されます。

図形データ削除 [システム管理メニュー][ログアウト]
[税務課] 管理:neogis

レイヤ: 002 528避難施設 ▼ タイプ: シンボル 実行

[検索処理] テーブル: n528避難施設 ▼

条件式のクリア 条件式のセット ● 定数・コード値 ○ 他項目

and label 行政コード 名称 住所 施設の種類 収容人数

＝ (等しい)
≠ (等しくない)
< (小さい)
> (大きい)
≤ (以下)
≥ (以上)

レイヤ： 削除対象の図形レイヤ。

削除条件を、論理式で指定します。

条件が指定されない場合は、全レコードが削除されます。

図形レイヤには複数の属性テーブルがリンクしている場合もあるので、属性テーブルも選択します。

「実行」ボタンのクリックにより、設定した条件でデータが削除され結果が表示されます。

図形データ削除

レイヤ: 002 528避難施設 ▼ タイプ: シンボル 実行

[検索処理] テーブル: n528避難施設 ▼

名称 = '*小学校*'

条件式のクリア 条件式のセット ● 定数・コード値 ○ 他項目

and label 行政コード 名称 住所 施設の種類 収容人数

＝ (等しい)
≠ (等しくない)
< (小さい)
> (大きい)
≤ (以下)
≥ (以上)

小学校

データ削除 完了
レイヤ : 002 528避難施設 (シンボル)
削除データ件数 : 10 件

10-3. 図形データのロード

図形データ処理「データロード」ボタンをクリックし、「図形データロード」画面を表示します。
各種条件を設定して「実行」ボタンのクリックで、図形データがロードされます。

注意： 図形データでロード可能なのは、「10-1. 図形データの抽出」で抽出したデータのみとなります。※このデータはシステムの内部形式です。
他で作成した図形データはロードできません。

レイヤ： ロード対象の図形レイヤ。

文字コード： ロードデータの文字コード。Shift-JIS/EUC/UTF-8

ファイル形式： ロードするデータの形式。※このデータはシステムの内部形式となります。

shape： shape 形式。
※dcf、shp、shx を Lzh でまとめたものを指定する。

dump： データベース (PostgreSQL) の COPY 形式。

ファイルタイプ： ファイル形式が “dump” の場合、テキスト/バイナリを選択。

座標変換： ロードするデータの座標形式を指定。

緯度経度/メートル/EPSGコード

緯度経度/メートルは、GISの環境設定に依存します。

EPSGコードとは？：

GISで使用する座標参照系、測地系、地図投影法等を表すコード。
室蘭市（デモデータ）では、以下となります。

2454： 平面直角座標の12系。JGD2000

4612； JGD2000。緯度経度

4326： WGS84。緯度経度

また

緯度経度： 4612がセットされます。

メートル： 2454がセットされます。

ロードタイプ： ロードタイプ。入れ替え／追加

データファイル： ロードする図形データファイル。

「実行」 ボタンのクリックにより、設定した条件でデータがロードされ結果が表示されます。

図形データロード	
レイヤ:	002 528避難施設 ▼ タイプ:シンボル 文字コード: Shift-JIS ▼ <input type="button" value="実行"/>
ファイル形式:	dump ▼ ファイルタイプ: <input checked="" type="radio"/> テキスト <input type="radio"/> バイナリ
座標変換:	<input checked="" type="radio"/> 経度緯度 <input type="radio"/> メートル <input type="radio"/> EPSGコード指定 6668
ロードタイプ:	<input checked="" type="radio"/> 入れ替え <input type="radio"/> 追加
データファイル:	E:\trnp\adm_gdbExt20191103174902.dmp <input type="button" value="参照..."/>
<div>データロード 完了 レイヤ : 002 528避難施設 (シンボル) 文字コード : Shift-JIS ファイル形式 : dump (テキスト) ファイルサイズ : 3.75 KB EPSGコード : 6668 ロードデータ件数 : 23 件 全データ件数 : 23 件</div>	

1 1. 属性テーブル設定

属性テーブルの吹き出し項目、非公開情報項目の設定を行います。

グループで管理している属性テーブルが表示されます。

下部の「吹き出し項目」、「非公開情報項目」ボタンで、それぞれ設定します。

また、属性テーブルの階層、地図クリック時の優先順位も設定可能です。

階層	属性テーブル	吹き出し	非公開情報
G地籍図	筆属性	4 件	14 件
G地籍図	地籍図	5 件	なし
G地籍図	共有者	4 件	7 件
なし	家屋図	1 件	1 件
なし	農振用農地aaa	なし	なし
なし	n401三角点	なし	なし

1 1 - 1. 吹き出し項目の設定

設定する属性テーブルを選択して、「吹き出し項目」ボタンをクリックします。

吹き出しに表示したい項目のチェックボックスをONにします。

また、上下矢印のボタンで、吹き出しの表示順の設定も可能です。

さらに、吹き出し表示時の項目の表示名の設定も可能となっています。

項目名	表示名
<input checked="" type="checkbox"/> 大字名称	
<input checked="" type="checkbox"/> 小字名称	
<input checked="" type="checkbox"/> 地番	
<input checked="" type="checkbox"/> 筆界未定構成状態	筆界未定
<input type="checkbox"/> ラベル	
<input type="checkbox"/> 大字cd	
<input type="checkbox"/> 小字cd	
<input type="checkbox"/> 精度区分	
<input type="checkbox"/> 図解法数値法区分	
<input type="checkbox"/> 筆状態	
<input type="checkbox"/> 一筆地調査年月	
<input type="checkbox"/> 一筆地測図年月	

「適用」ボタン： 設定した吹き出し設定を保存します。

「リセット」ボタン： 設定した吹き出し情報をリセットします。

1 1－2．非公開情報項目の設定

非公開情報項目に指定すると：

- ① その属性テーブルが公開された場合でも、指定された項目は公開されません。
 - ② 指定された項目は、画面に表示されても、印刷時は出力されません。
 - ③ 指定された項目は、CSV出力、GISデータ出力にも出力されません。
- ただし、管理者は出力可能です。

設定する属性テーブルを選択して、「非公開情報項目」ボタンをクリックします。

非公開情報に指定したい項目のチェックボックスをONにします。

「適用」ボタン： 設定した非公開情報項目を保存します。

「リセット」ボタン： 設定した非公開情報項目をリセットします。

1 1－3．属性テーブルの階層設定

属性テーブルの階層とは、属性テーブルのグループのようなイメージです。

次ページのように階層が設定されていると、GISメニューが、左図のようになり、“基本図”が選択されている場合、“家屋図”、“筆属性”、“地籍図”、“共有者”すべてが、クリックの対象となります。

例えば、“テスト”という階層を新しく作成し、その中に“n526 避難施設”を入れる場合は、下図のように、「階層」に“テスト”と入力し、“n526 避難施設”を選択後、「セット」ボタンを

クリックします。

階層	属性テーブル	吹き出し	個人情報
基本図	家屋図	2 件	なし
基本図	筆属性	7 件	3 件
基本図	地籍図	5 件	なし
基本図	共有者	7 件	なし
なし	n401三角点	3 件	4 件
なし	n528避難施設	なし	なし
なし	農振用農地aaa	なし	なし

階層: ▼

テスト

属性テーブル: n528避難施設

セット

属性テーブルを階層から外す場合は、対象属性テーブルを選択後、「階層」で“ブランク”を選択して、「セット」ボタンをクリックします。

「適用」ボタン： 設定した階層設定を保存します。

「リセット」ボタン： 設定した階層設定をリセットします。

11-4. 属性テーブルの優先順位

属性テーブルの優先順位とは、属性テーブルの階層が設定されている場合、その中での地物のクリック時の優先順位を表します。

例えば、上図のような階層“基本図”の場合、家屋図と筆属性は両方ポリゴンなので、家屋図の優先順位を筆属性より上におかないと、家屋図のクリックができなくなります。これを回避するために優先順位があります。もちろん、「全て」チェックボックスを外して、対象の属性テーブルを選択すれば、下位の属性テーブルのクリックも可能となります。



階層が設定されていない属性テーブルは、その図面内に存在する属性テーブルでの優先順位となります。

優先順位の設定は、属性テーブルを選択して、↑ ↓ で行います。

「適用」ボタン： 設定した優先順位を保存します。

「リセット」ボタン： 設定した優先順位をリセットします。

12. データ公開設定

図形レイヤ、属性テーブルのグループ外への公開／非公開の設定を行います。

グループで管理している図形レイヤ、属性テーブルが表示されます。

公開する図形レイヤ、属性テーブルを選択して、「適用」 ボタンのクリックで、公開／非公開の設定が可能です。

注意：

公開していたレイヤを使用して他グループで図面を作成していたとします。
対象レイヤを非公開に設定しなす場合、警告等のメッセージは出力されません。
他グループでその図面を開いたときに、対象レイヤが表示されないだけとなります。

「適用」 ボタン： 設定したデータ公開設定を保存します。

「リセット」 ボタン： 設定したデータ公開設定をリセットします。

1 3. G I Sデータ取り込み

G I Sデータ（shape、KML、GeoJSON）の取り込みを行います。

G I Sデータと取り込んだ場合、図形レイヤ、属性テーブルがペアで作成されます。

1 3－1. Shape データの取り込み

GIS の世界ではほぼ標準となっている shape 形式データの取り込みを説明します。

手順：

- ① ファイル形式で” shape”を選択。
- ② 「参照」ボタンで、shape ファイルを構成する 3 ファイル
(???.shp、???.dbf、???.shx)
を指定します。
この時に、shape の文字コードも指定します。Shift-JIS/EUC/UTF-8

GISデータ取り込み			
ファイル形式:	Shape	ファイル:	D:\work\401三角点.dbf
文字コード:	Shift-JIS		D:\work\401三角点.shp
			D:\work\401三角点.shx
***** Shapeファイル(拡張子="shp","shx","dbf")をアップロードして下さい *****			

- ③ 「アップロード」ボタンのクリック。
アップロードされた shape の情報が表示されます。
自動的にテーブル名等がセットされています。

Shapeデータ取り込み		[システム管理メニュー][ログイン]	
文字コード:	Shift-JIS	Shapeファイル:	E:\tmp\data\401三角点.dbf
			E:\tmp\data\401三角点.shp
			E:\tmp\data\401三角点.shx
処理モード: <input checked="" type="radio"/> 新規作成 <input type="radio"/> 入れ替え <input type="radio"/> 追加 座標変換: <input checked="" type="radio"/> 経度緯度 <input type="radio"/> メートル <input type="radio"/> EPSGコード指定 6668			
実行 リセット			
テーブル名:	n401三角点	レイヤNO:	001
レイヤ名:	401三角点	キー項目:	label
<input checked="" type="checkbox"/> 自動 <input type="checkbox"/> 詳細設定			
アップロード完了			
文字コード : Shift-JIS			
ファイル名 : C:\fakepath\401三角点.shp			
ファイルサイズ : 8.64 KB			
ファイル名 : C:\fakepath\401三角点.shx			
ファイルサイズ : 2.54 KB			
ファイル名 : C:\fakepath\401三角点.dbf			
ファイルサイズ : 54.32 KB			
データ件数 : 305			

処理モード： 新規作成／入れ替え／追加。

新規作成： 新規に図形レイヤ、属性テーブルが作成されます。

入れ替え： 既存の図形レイヤ、属性テーブルのデータ入れ替えとなります。

追加； 既存の図形レイヤ、属性テーブルへのデータ追加となります。

座標変換： 元の shape の座標形式。
 緯度経度／メートル／EPSGコード
 緯度経度／メートルは、GISの環境設定に依存します。
 EPSGコードとは？：
 GISで使用する座標参照系、測地系、地図投影法等を表すコード。
 室蘭市（デモデータ）では、以下となります。
 2 4 5 4： 平面直角座標の1 2系。JGD2000
 4 6 1 2； JGD2000。緯度経度
 4 3 2 6： WGS84。緯度経度

また
 緯度経度： 4 6 1 2がセットされます。
 メートル： 2 4 5 4がセットされます。

テーブル名： 自動設定では、shape のファイル名。
 変更可能です。半角数字以外で始まる漢字8文字（半角16文字）までの文字列。

レイヤNO： 自動設定では、001 から探して、使用していない番号。
 変更可能です。001～999 ただし、888、999 は使えません。

レイヤ名： 自動設定では、shape のファイル名。
 変更可能です。漢字9文字（半角18文字）までの文字列。

キー項目： 図形レイヤとリンクする項目。
 自動設定では、”_label” という項目が追加され、ユニーク番号が振られます。

キー項目： ☒ 自動

元の shape 内に、すでにユニークな項目がある場合は、それを使用することも可能です。

「自動」チェックボックスを外すことで、選択が可能となります。
 元の shape 内の項目を指定した場合は、”_label” 項目は追加されません。

キー項目： <input type="text" value="未設定"/>	<input type="checkbox"/> 自動
<input type="text" value="label"/>	
<input type="text" value="id"/>	
<input type="text" value="uuid"/>	
全桁 存在期間自	ラダ
10 整備完了日	キー
8 orgidvl	キー
27 orgmdid	キー
表示区分	

詳細設定： shape 内の項目、および、それを元に作成する属性テーブルの項目一覧を表示します。
 ここで、項目名の変更、項目順の変更等が可能です。

テーブル名: レイヤNO: レイヤ名: キー項目: ☐ 自動 ☒ 詳細設定

想定レコード数: 増分レコード数: コメント:

NO	Shapeデータ名	項目名	項目型	全桁	少数桁	キーフラグ	ヌルフラグ	データ型	コードID
1	label	label	文字型	10	0	ノンキー	ヌル可能	値	
2	id	id	文字型	8	0	ノンキー	ヌル可能	値	
3	uuid	uuid	文字型	27	0	ノンキー	ヌル可能	値	
4	存在期間自	存在期間自	文字型	8	0	ノンキー	ヌル可能	値	
5	整備完了日	整備完了日	文字型	8	0	ノンキー	ヌル可能	値	
6	orgidvl	orgidvl	文字型	4	0	ノンキー	ヌル可能	値	
7	orgmdid	orgmdid	文字型	1	0	ノンキー	ヌル可能	値	
8	表示区分	表示区分	文字型	1	0	ノンキー	ヌル可能	値	
9	助言番号	助言番号	文字型	1	0	ノンキー	ヌル可能	値	
10	計画機関名	計画機関名	文字型	15	0	ノンキー	ヌル可能	値	

項目設定

項目名: 項目型: 全桁: 少数桁: キーフラグ: ヌルフラグ: データ型: 単位: コメント:

想定レコード数、増分レコード数：

想定されるレコード数、想定される増分レコード数。
システムが元の shape レコード数より算出します。
システム内では、メモの扱いです。

コメント： データのメモ。漢字 1 1 文字（半角 2 2 文字）までの文字列。

添付ファイルの追加：

属性テーブルでは、各レコードに添付ファイル(画像、エクセル等)
を添付することが可能です。
詳細設定で、“_upkey”という特別な名前の項目を追加することで、
これが可能となります。
この場合、項目型、桁数等は自動設定されますので、指定する必要
はありません。

項目設定						
項目名	項目型	全桁	少数桁	キーフラグ	ヌルフラグ	データ型
_upkey	文字型	10	0	ノンキー	ヌル可能	値

④ 設定後、「実行」ボタンのクリックで処理が実行され結果が表示されます。

項目設定				
項目名	項目型	全桁	少数桁	キー
_image_cnt	小桁整数型	2	0	ノン

Shapeデータ取込み 完了

文字コード : Shift-JIS
EPSGコード : 6688
Shapeデータ件数 : 305 件
ロードデータ件数 : 305 件

上記手順により、属性テーブル “n401 三角点”、レイヤ “004” “401 三角点” が作成されます。

この時点で、属性テーブル “n401 三角点”、レイヤ “004” “401 三角点” は、非公開で作成されます。

公開する場合は、「1 2. データ公開設定」で設定します。

また、属性テーブル “n401 三角点” の吹き出し項目、非公開情報項目の設定は、「1 1. 属性テーブル設定」で設定します。

1 3 - 2. KML データの取り込み

Google maps、Google Earth 等で使用されている KML 形式データの取り込みを説明します。

手順：

- ① ファイル形式で” KML ”を選択。
- ② 「参照」ボタンで、取り込む KML ファイルを指定します。
KML は文字コード UTF-8 が前提となりますので、文字コードの指定はありません。

GISデータ取込み [システム管理メニュー][ログアウト]
[税務課] 管理:neosis

ファイル形式: KML ファイル: C:\Users\mayu\Downloads\WP200筆属性.kml 参照... アップロード

文字コード: UTF-8

***** KMLファイル(拡張子="kml" または "kmz")をアップロードして下さい *****

- ③ 「アップロード」ボタンのクリック。
アップロードされた KML の情報が表示されます。
自動的にテーブル名等がセットされています。

GISデータ取込み [システム管理メニュー][ログアウト]
[税務課] 管理:neosis

ファイル形式: KML ファイル: C:\Users\mayu\Downloads\WP200筆属性.kml 参照... アップロード

文字コード: UTF-8

処理モード: ☒ 新規作成 ☐ 入れ替え ☐ 追加 座標変換: ☒ 経度緯度 ☐ メートル ☐ EPSGコード指定 6688 実行 リセット

テーブル名: p200筆属性 レイヤNO: 009 タイプ: ポリゴン レイヤ名: p200筆属性 キー項目: _label ☒ 自動 ☐ 詳細設定

アップロード完了

ファイル形式 : KML
文字コード : UTF-8
ファイル名 : C:\Users\mayu\Downloads\WP200筆属性.kml
ファイルサイズ : 33.44 KB
データ件数 : 13955

座標変換： 元の KML の座標形式。
KML の場合、下記限定です。
4 3 2 6 : WGS84。緯度経度

これ以降の処理は、「1 3 - 1. Shape データの取り込み」と同様です。

1 3 - 3. GeoJSON データの取り込み

近年、GIS の世界でも使用されることが多い GeoJSON 形式データの取り込みを説明します。

手順：

- ① ファイル形式で” GeoJSON” を選択。
- ② 「参照」ボタンで、取り込む KML ファイルを指定します。
この時に、GeoJSON の文字コードも指定します。Shift-JIS/EUC/UTF-8

GISデータ取込み [システム管理メニュー][ログアウト]
[税務課] 管理: neocis
ファイル形式: GeoJson ファイル: C:\Users\mayu\Downloads\p200筆属性.geojson 参照... アップロード
文字コード: UTF-8
**** GeoJsonファイル(拡張子=“.json”または“.geojson”)をアップロードして下さい ****

- ③ 「アップロード」ボタンのクリック。
アップロードされた GeoJSON の情報が表示されます。
自動的にテーブル名等がセットされています。

GISデータ取込み [システム管理メニュー][ログアウト]
[税務課] 管理: neocis
ファイル形式: GeoJson ファイル: C:\Users\mayu\Downloads\p200筆属性.geojson 参照... アップロード
文字コード: UTF-8
処理モード: ☒ 新規作成 ☐ 入れ替え ☐ 追加 座標変換: ☒ 経度経度 ☐ メートル ☐ EPSGコード指定 6668 実行 リセット
テーブル名: p200筆属性 レイヤNO: 009 タイプ: ポリゴン レイヤ名: p200筆属性 キー項目: label ☒ 自動 ☐ 詳細設定
アップロード 完了
ファイル形式 : GeoJson
文字コード : UTF-8
ファイル名 : C:\Users\mayu\Downloads\p200筆属性.geojson
ファイルサイズ : 14.78 MB
データ件数 : 13855

座標変換： 元の GeoJSON の座標形式。
緯度経度／メートル／EPSGコード
緯度経度／メートルは、GIS の環境設定に依存します。

EPSGコードとは？：

GIS で使用する座標参照系、測地系、地図投影法等を表すコード。

室蘭市（デモデータ）では、以下となります。

- 2 4 5 4： 平面直角座標の 1 2 系。JGD2000
- 4 6 1 2； JGD2000。緯度経度
- 4 3 2 6： WGS84。緯度経度

また

- 緯度経度： 4 6 1 2 がセットされます。
- メートル： 2 4 5 4 がセットされます。

これ以降の処理は、「1 3 - 1. Shape データの取り込み」と同様です。

14. アドレスマッチング

住所を含む CSV ファイルから、アドレスマッチング（住所から座標を特定する機能）により、ポイントレイヤ、属性テーブルを作成します。

手順：

- ① 「参照」ボタンで、CSV ファイルを指定します。
この時に、CSV ファイルの文字コードも指定します。Shift-JIS/EUC/UTF-8

- ② 「アップロード」ボタンのクリック。
アップロードされた CSV ファイルの情報が表示されます。
自動的にテーブル名等がセットされています。

処理モード： 新規作成／入れ替え／追加。

新規作成： 新規に図形レイヤ、属性テーブルが作成されます。

入れ替え： 既存の図形レイヤ、属性テーブルのデータ入れ替えとなります。

追加； 既存の図形レイヤ、属性テーブルへのデータ追加となります。

テーブル名： 自動設定では、CSV のファイル名。

変更可能です。半角数字以外で始まる漢字 8 文字（感覚 16 文字）までの文字列。

レイヤNO： 自動設定では、001 から探して、使用していない番号。
変更可能です。001～999 ただし、888、999 は使えません。

レイヤ名： 自動設定では、CSV のファイル名。

住所項目： CSV 項目中で、アドレスマッチングを行う項目（住所が入っている項目）を指定します。

住所項目:

未設定

label

行政コード

名称

住所

施設の種類

収容人数

施設規模

対象災害_地震

対象災害_津波

対象災害_風水害

対象災害_火山

対象災害_その他

対象災害指定なし

詳細設定： CSV 内の項目、および、それを元に作成する属性テーブルの項目一覧を表示します。
ここで、項目名の変更、項目順の変更等が可能です。

テーブル名: n528避難施設 レイヤNO: 002 レイヤ名: 528避難施設 住所項目: 未設定 詳細設定
想定レコード数: 100 増分レコード数: 10 コメント: 市区町村名:

NO	CSVデータ名	項目名	項目型	全桁	少数桁	キーフラグ	ヌルフラグ	データ型	コードID
1	[キー]	_label	文字型	10	0	昇順	ヌル可能	値	
2	label	label	文字型	10	0	ノンキー	ヌル可能	値	
3	行政コード	行政コード	文字型	5	0	ノンキー	ヌル可能	値	
4	名称	名称	文字型	48	0	ノンキー	ヌル可能	値	
5	住所	住所	文字型	40	0	ノンキー	ヌル可能	値	
6	施設の種類	施設の種類	文字型	33	0	ノンキー	ヌル可能	値	
7	収容人数	収容人数	文字型	3	0	ノンキー	ヌル可能	値	
8	施設規模	施設規模	文字型	2	0	ノンキー	ヌル可能	値	
9	対象災害_地震	対象災害_地震	文字型	9	0	ノンキー	ヌル可能	値	
10	対象災害_津波	対象災害_津波	文字型	9	0	ノンキー	ヌル可能	値	

データサンプル: 項目設定
上に移動 下に移動 追加 更新 削除
項目名 項目型 全桁 少数桁 キーフラグ ヌルフラグ データ型 単位 コメント
文字型 1 0 ノンキー ヌル可能 値 未設定

自動的に、”_label” という項目が追加され、ユニーク番号が振られます。この項目が図形レイヤとのリンクに使用されます。

NO	CSVデータ名	項目名	項目型
1	[キー]	_label	文字型
2	label	label	文字型

また、下記2項目も自動的に追加されます。

マッチング住所： マッチングしたシステム内で持つ正規化住所

マッチングレベル： マッチングした精度

- 1： 県レベル
- 2： 市町村レベル
- 3： 町丁目レベル
- 4： 番地レベル
- 5： 号レベル

14	対象災害指定なし	対象災害指定なし	文字型
15	[マッチング住所]	_m_address	文字型
16	[マッチングレベル]	_m_level	小数型

想定レコード数、増分レコード数：

想定されるレコード数、想定される増分レコード数。
システムが元の CSV ファイルのレコード数より算出します。
システム内では、メモの扱いです。

コメント： データのメモ。漢字 1 1 文字（半角 2 文字）までの文字列。

市町村名： CSV データの内容が特定の市町村に限定される場合は、その市町村名を指定しておく、マッチングの精度の向上が見込まれます。

添付ファイルの追加：

属性テーブルでは、各レコードに添付ファイル(画像、エクセル等)を添付することが可能です。
詳細設定で、“_upkey” という特別な名前の項目を追加することで、これが可能となります。
この場合、項目型、桁数等は自動設定されますので、指定する必要はありません。

項目名	項目型	全桁	少数桁	キーフラグ	ヌルフラグ	データ型
_upkey	文字型	10	0	ノンキー	ヌル可能	値

- ④ 設定後、「実行」ボタンのクリックで処理が実行され結果が表示されます。
各マッチングレベルごとの件数も表示されます。

アドレスマッチング 完了	
マッチング件数	: 33
「件数内訳」	
level 0(不明)	: 0
level 1(都道府県)	: 0
level 2(市区町村)	: 0
level 3(町丁目)	: 3
level 4(番地)	: 30
level 5(号)	: 0

上記手順により、属性テーブル “n528 避難施設”、レイヤ “00 2” “528 避難施設” が作成されます。

この時点で、属性テーブル “n528 避難施設”、レイヤ “002” “528 避難施設” は、非公開で作成されます。

公開する場合は、「1 2. データ公開設定」で設定します。

また、属性テーブル “n401 三角点” の吹き出し項目、非公開情報項目の設定は、「1 1. 属性テーブル設定」で設定します。

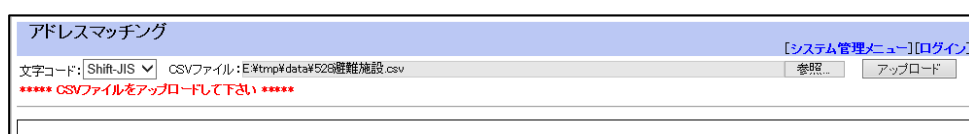
15. 地番マッチング

大字 cd、地番という項目を持つ CSV ファイルを、筆属性とマッチングし、地籍図にリンクする属性テーブルを作成します。

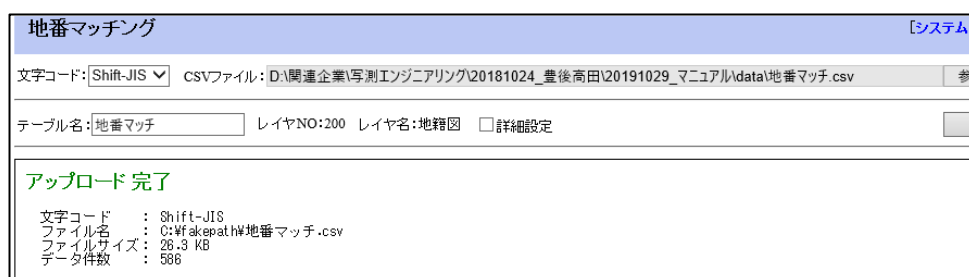


手順：

- ③ 「参照」ボタンで、CSV ファイルを指定します。
この時に、CSV ファイルの文字コードも指定します。Shift-JIS/EUC/UTF-8



- ④ 「アップロード」ボタンのクリック。
アップロードされた CSV ファイルの情報が表示されます。
自動的にテーブル名等がセットされています。



テーブル名： 自動設定では、CSV のファイル名。
変更可能です。半角数字以外で始まる漢字 8 文字（半角 16 文字）
までの文字列。

レイヤNO： 地籍図レイヤのレイヤ番号＝200。

レイヤ名： 地籍図。

詳細設定： CSV 内の項目、および、それを元に作成する属性テーブルの項目一
覧を表示します。
ここで、項目名の変更、項目順の変更等が可能です。

地番マッチング [システム管理メニュー] [ログアウト]
[業務課] 管理: nreco

文字コード: Shift-JIS CSVファイル: D:\関連企業\写測エンジニアリング\20181024_豊後高田\20191029_マニュアル\data\地番マッチ.csv 参照... アップロード

テーブル名: 地番マッチ レイヤNO: 200 レイヤ名: 地籍図 ☒ 詳細設定 実行 リセット

想定レコード数: 600 増分レコード数: 60 コメント:

NO	CSVデータ名	項目名	項目型	全桁	少数桁	キーフラグ	ヌルフラグ	データ型	コードID
1	[キー]	ラベル	文字型	10	0	昇順	ヌル可能	値	
2	[大字cd]	大字cd	文字型	3	0	昇順	ヌル可能	値	
3	小字cd	小字cd	文字型	3	0	ノンキー	ヌル可能	値	
4	[地番]	地番	文字型	50	0	ノンキー	ヌル可能	値	
5	_登記地目	_登記地目	文字型	2	0	ノンキー	ヌル可能	値	
6	_登記地積	_登記地積	文字型	7	0	ノンキー	ヌル可能	値	
7	_所有者	_所有者	文字型	54	0	ノンキー	ヌル可能	値	
8	地域区分	地域区分	文字型	1	0	ノンキー	ヌル可能	値	
9	台帳面積	台帳面積	文字型	1	0	ノンキー	ヌル可能	値	
10	農用地面積	農用地面積	文字型	1	0	ノンキー	ヌル可能	値	

データサンプル:
-----項目設定-----

上に移動 下に移動 追加 更新 削除

項目名	項目型	全桁	少数桁	キーフラグ	ヌルフラグ	データ型	単位	コメント
	文字型	1	0	ノンキー	ヌル可能	値	-----未設定-----	

自動的に、“ラベル”という項目が追加され、ユニーク番号が振られます。この項目が図形レイヤとのリンクに使用されます。

NO	CSVデータ名	項目名	項目型
1	[キー]	ラベル	文字型
2	[大字cd]	大字cd	文字型
3	小字cd	小字cd	文字型
4	[地番]	地番	文字型

想定レコード数、増分レコード数：

想定されるレコード数、想定される増分レコード数。
システムが元の CSV ファイルのレコード数より算出します。
システム内では、メモの扱いです。

コメント： データのメモ。漢字 11 文字（半角 22 文字）までの文字列。

添付ファイルの追加：

属性テーブルでは、各レコードに添付ファイル（画像、エクセル等）を添付することが可能です。
詳細設定で、“_upkey”という特別な名前の項目を追加することで、これが可能となります。
この場合、項目型、桁数等は自動設定されますので、指定する必要はありません。

-----項目設定-----

項目名	項目型	全桁	少数桁	キーフラグ	ヌルフラグ	データ型
_upkey	文字型	10	0	ノンキー	ヌル可能	値

- ⑤ 設定後、「実行」ボタンのクリックで処理が実行され結果が表示されます。
一致、不一致の件数も表示されます。

データマッチング 完了

マッチング件数 : 586
「件数内訳」
一致 : 315
不明 : 271

上記手順により、属性テーブル“地番マッチ”が作成され、地籍図レイヤ（200）にリンクされます。

この時点で、属性テーブル“地番マスタ”は、非公開で作成されます。
公開する場合は、「12. データ公開設定」で設定します。

また、属性テーブル“地番マスタ”の吹き出し項目、非公開情報項目の設定は、「11. 属性テーブル設定」で設定します。

16. システムログ表示

データ更新、印刷、システム管理等の処理ログを一覧表示します。
表示条件を指定して、「検索」ボタンクリックで表示します。

システムログ表示

【システム管理メニュー】 [ログアウト]

【税務課】 管理: neogis

【条件】 ユーザ: 全て 処理: システム管理 全て 【並替】 日時(新)順 【期間】 全て

キーワードを入力 検索 CSV作成 先頭 前頁 1 件目 次頁 最終 件数: 16

NO	日付	IPアドレス	グループ	ユーザ	権限	処理	内容
1	2019/11/20 15:54:03	192.168.2.102	税務課	neogis	管理	属性テーブル - 削除	aa: 他1項目、(データ) 0 件
2	2019/11/20 15:53:35	192.168.2.102	税務課	neogis	管理	属性テーブル - 作成	aa: 他1項目
3	2019/11/14 15:09:17	192.168.2.102	税務課	neogis	管理	その他 - 地積データのアップ	1 件: 【追加】 Q土地台帳_公園.csv (11.81 KB)
4	2019/11/14 15:08:48	192.168.2.102	税務課	neogis	管理	その他 - 地積データのアップ	1 件: 【更新】 adm_zdbExt20191113152419.csv (109 Bytes)
5	2019/11/14 15:08:27	192.168.2.102	税務課	neogis	管理	その他 - 地積データのアップ	1 件: 【更新】 PAssist_Std.exe (24.38 MB)
6	2019/11/14 15:02:48	192.168.2.102	税務課	neogis	管理	その他 - 地積データのアップ	1 件: 【追加】 PAssist_Std.exe (24373712Bytes)
7	2019/11/14 13:28:11	192.168.2.102	税務課	neogis	管理	属性テーブル - 削除	[200] q土地台帳_公園: label 他12項目、(データ) 184 件
8	2019/11/14 13:26:27	192.168.2.102	税務課	neogis	管理	属性テーブル - 削除	[200] q土地台帳_公園: label 他12項目、(データ) 184 件
9	2019/11/14 11:19:30	192.168.2.102	税務課	neogis	管理	アドレスマッチング	(点) [004] jyusho - jyusho: 追加 1 件 [内訳 Lv5: 1 件] (全 3 件 [内訳 Lv5: 3 件])
10	2019/11/14 11:19:04	192.168.2.102	税務課	neogis	管理	アドレスマッチング	(点) [004] jyusho - jyusho: 追加 1 件 [内訳 Lv5: 1 件] (全 2 件 [内訳 Lv5: 2 件])
11	2019/11/14 11:15:11	192.168.2.102	税務課	neogis	管理	アドレスマッチング	(点) [004] jyusho - jyusho: 入れ替え 1 件 [内訳 Lv5: 1 件]
12	2019/11/14 11:13:14	192.168.2.102	税務課	neogis	管理	アドレスマッチング	(点) [004] jyusho - jyusho: 入れ替え 1 件 (Lv5: 1 件)
13	2019/11/14 10:51:55	192.168.2.102	税務課	neogis	管理	アドレスマッチング	(点) [004] jyusho - jyusho: 入れ替え / 1 件
14	2019/11/14 10:48:26	192.168.2.102	税務課	neogis	管理	アドレスマッチング	(?) [004] jyusho - jyusho: 新規作成 / 1 件
15	2019/11/14 10:47:57	192.168.2.102	税務課	neogis	管理	属性テーブル - 削除	[004] jyusho: _label 他4項目、(データ) 2 件
16	2019/11/14 10:47:48	192.168.2.102	税務課	neogis	管理	図形レイヤ - 削除	(点) [004] jyusho: (データ) 3 件

表示可能なログ:

スーパーユーザの場合： 全てのログ

グループの管理者の場合： 自分のグループのログ

表示オプション:

【条件】 ユーザ:
 処理:
【並替】
【期間】

ユーザ： 全て／各ユーザIDを指定可能。

処理： システム管理／データ更新／地図印刷を指定可能。
それぞれ各オプションでの絞り込みも可能です。

システム管理

システム管理	▼	全て
		グループ
	検索	ユーザ
		図形レイヤ
		コードテーブル
		属性テーブル
		属性データ
		図形データ
		データ公開設定
		GISデータ取り込み
		アドレスマッチング
		その他

データ処理

地图印刷

並替： 日付（新）順／日付（古）順を指定可能。

期間： 表示する期間を指定。

[期間]	1週間
	2週間
	3週間
	1ヵ月
	2ヵ月
	3ヵ月
	6ヵ月
	1年
	全て

権限

キーワード： 指定した文字列で、「内容」項目を検索します。
例えば、“地籍図”と入力して検索すると、地籍図に関して
何らかの処理を行ったログのみが表示されます。

「CSV作成」ボタン：

「検索」ボタンで表示されたログをCSVに出力し、ダウンロード
可能とします。
事前に「検索」ボタンでの画面表示が必要です。

頁移動ボタン：

先頭	前頁	1	件目	次頁	最終
----	----	---	----	----	----

先頭： 先頭を表示します。
前頁： 一つ前の頁を表示します。
件目： 入力された数値件目を表示します。
次頁： 一つ後ろの頁を表示します。
最終： 最終頁を表示します。

件数： 検索されたログの件数。

内容： 処理の概要が説明されています。

以上